

株式会社ちふれ化粧品

2011年10月26日

なでしこリーグ所属「AS エルフエン狭山 FC」との スポンサーシップ契約締結

—「女性を応援する企業」としての企業姿勢を具現化。地域貢献へもつなげる—



「ちふれ」社名入り公式ユニフォーム

(左)株式会社ちふれ化粧品 代表取締役社長 片岡方和 (右)NPO 法人エルフェンスポーツクラブ 理事長 田嶋三郎太氏

株式会社ちふれ化粧品は(本社:埼玉県川越市 代表取締役社長:片岡方和)は、2011年10月24日、さまざまな形で女性を応援する企業姿勢を具現化する活動の一環として、日本女子サッカーリーグ一部(なでしこリーグ)に参戦している「AS エルフエン狭山 FC」(エルフェンスポーツクラブ)とスポンサーシップ契約を締結しました。

ワールドカップでの「なでしこジャパン」の優勝を機に、女子サッカーへの関心が急速に高まっている中、国内トップリーグに参戦する同チームを支援し、選手が着用する公式ユニフォームに社名「ちふれ」を表示することなどで、「女性を応援する企業」としてのさらなる認知や理解の拡大を狙います。

ちふれ化粧品は、1968年、消費者団体「全地婦連(全国地域婦人団体連絡協議会)」とともに、「すべてのお客様に、安くて良い化粧品を」という思いから誕生しました。創業以来「高品質でありながら低価格」な商品を実現すると同時に、様々な形で「女性を応援する」活動を展開し続け、2010年には、日本中の女性を応援し、励まし、勇気づけるプロモーション活動「SAVE WOMAN(セーブ・ウーマン)キャンペーン」を実施しました。

今回の「AS エルフエン狭山 FC」とのスポンサー契約もそういった活動の一環です。男子サッカー(Jリーグ)や他のプロスポーツに比べ、女子サッカーの場合は、多くの選手が仕事とサッカーを両立させなければならず、日々の練習活動や試合会場へ向かうための移動等に大きな制約を受けるなど、必ずしも選手たちがサッカー競技に集中できる環境が整っているとは言えません。このような状況を受け、ちふれ化粧品は「女性を応援する企業」として、何らかの支援を行うことを模索し、今回の契約締結に至りました。

また、今回、スポンサーシップ契約を締結するにいたった「AS エルフエン狭山 FC」は、当社の本拠(本社・工場)である川越市に隣接する狭山市を拠点に、サッカーだけにとどまらない各種スポーツ関連の地域社会貢献を行っており、地域ボランティアによる運営サポートを受けるなど、地域密着型にこだわったチーム運営を行っています。地域に根付いた活動を行う同チームを支援することで、一企業市民としての地域貢献にもつなげていきたいと考えています。

10月30日に鴻巣市立陸上競技場で行われる、なでしこリーグ公式戦(対アルビレックス新潟レディース戦)から、「AS エルフエン狭山 FC」選手は「ちふれ」社名入りの公式ユニフォームを着用する予定です。当社では、資金面での援助に加えて、同チーム所属選手への自社商品の提供によるサポートも検討しています。尚、本スポンサー契約は2012年度以降も継続していく予定です。

■AS エルフエン狭山 FC について

1985年に西埼玉の狭山市で地域少女サッカーチームとして発足。関東リーグを経て2002年に日本女子サッカーリーグに加盟。後援会を母体とした地域密着型のチーム運営を行い、2003年にはNPO法人「エルフェンスポーツクラブ」を設立。2008年には総合型スポーツクラブ化を実現し、チームはその組織に所属し活動している。身障者をはじめとするサッカー教室やその他さまざまな健康スポーツに関わるボランティア活動など、地域社会貢献にも積極的に参加している。中学生から社会人までという幅広い年代の選手が所属している。

代表者:田嶋 三郎太 監督:大石裕弘 主将:笠嶋由恵

所在地:〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台 1-4-9 狭山台ハイコーポ A801

TEL/FAX:04-2957-5322